

専任教員の教育・研究業績

所属 教育学部	職名 講師	氏名 吉田 雅子	大学院における研究 指導担当資格の有無	無		
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初 (始) 頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
37 ワークシートを活用しよう 38 ワークシート等を「職場体験学習」 に活用しよう総合的な学習の時間/『私 たちの道徳』完全活用ガイドブック 中 学校編	吉田雅子/柴原弘志	92頁～95頁	明治図書	東京、日本	平成27年2月	
39 この人に学ぶ一濱口梧陵/考える道徳 を創る「私たちの道徳」教材別ワーク シート集 中学校編	吉田雅子/荒木紀幸	231頁～238頁	明治図書	東京、日本	平成27年9月	
第2章 中学2～3年①「文明の消滅～失 われた1万年～」/考える道徳を創る 中 学校 新モラルジレンマ教材と授業展開	吉田雅子/荒木紀幸	76頁～81頁	明治図書	東京、日本	平成29年1月	
[片足のアルペンスキーヤー・三澤拓][背 番号10]/板書&指導案でよくわかる! 中学校3年の道徳授業 3.5時間のすべて	吉田雅子/柴原弘志	40頁～43頁 52頁～55頁	明治図書	東京、日本	平成31年3月	
第2章「相手への深く切なる思いから出 る行動とその後の安堵感を理解しよう」 「2人の間に生まれた互いを信頼する気 持ちは理解しよう」/中学校「特別の教 科 道徳」の授業と評価 実践ガイド	吉田雅子 /服部敬一	38頁～43頁 50頁～55頁	明治図書	東京、日本	平成31年3月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
「英語授業における音声認識ソフトの導 入と発音指導」	吉田雅子、吉田晴世	CIEC(コンピューター利用教育学 会)研究会報告集	7	43頁～48頁	平成28年3月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月
選択		選択				
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
研究会	令和3年9月	和文化教育学会(第18回和文化教育全国大 会八王子大会)	中学校英語における日本の伝統文化につ いて—教科書で使用されているテーマと 語彙の使われ方を基に—	帝京大学八王子キャンパ ス(オンライン開催)	吉田雅子	
国際	平成31年2月	ICEASS	CLIL Implements in Junior High School English Lessons focusing on Science Program in High School in Japan	シンガポール (Novotel Hotel Clarke Quay)	Miyako Yoshida, Haruyo Yoshida	
国際	平成30年2月	CamTESOL	Pronunciation Instruction Focusing on Listening Skill Development for Junior High School Students in Japan	カンボジア (プノンペン) the Institute of Technology Cambodia (ITC)	Miyako Yoshida, Haruyo Yoshida	
研究会	平成29年3月	英語授業研究学会 (関西支部・251回 例会)	「音声認識ソフトを導入した発音指導」	大阪・関西学院大学大 阪梅田キャンパス	吉田雅子	
研究会	平成28年3月	CIEC春期研究会2016	「英語授業における音声認識ソフトの導入	東京・大学生協杉並会 館	吉田雅子・吉田晴世	

科学研究費等の取得状況						
科学研究費/その他の助成金/外部資金						
区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)	
科学研究費	奨励研究	主体的かつ客観的発音指導が生徒の英語力に与える影響に関する実証的研究	代表	平成30年度	410,000	
科学研究費	基盤研究 (C)	「価値認識・自己認識・自己展望」に基づく道徳授業力の改善効果に関する実証的研究	分担	令和3年～令和6年	4,030,000	
特許						
特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
Ⅲ 加入学会および社会における活動						
期 間	内 容					
加入学会						
令和元年5月～	全国英語教育学会					
令和元年6月～	JALT (全国語学教師)					
社会的活動						
Ⅳ 管理活動						
期 間	内 容					
委員会活動						
特別プロジェクト活動						
Ⅴ クラブ活動の指導業績						
1. 指導クラブ名	部	2. 役職	例: 2009～〇〇 2013～〇〇	3. 部員数	人	
4. 現場指導の頻度	選択 ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない					
5. 合宿指導	年間合宿回数:	回	延べ日数:	日		
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	選択	①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所			
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)						
開催期間	大会名	成 績	場 所			
Ⅵ 賞罰 (職務に関する賞罰)						
年 月	受賞等機関名	内 容			備 考	